

学会ニュースNo.123 トピックス

- ・2018年度(第73回)総会・研究発表大会プログラム
- ・秋季例会・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第1報)
- ・講演会(第50回)のお知らせ(第1報)
- ・臨地研究会の募集
- ・2018年度立正地理学会研究委員会について
- ・研究委員会の紹介および委員の追加募集
- ・地理学教室だより
- ・会費納入のお願い

会告

○2018年度(第73回)総会・研究発表大会プログラム

日 時:2018年6月2日(土)9:30より

会 場:立正大学熊谷キャンパス アカデミックキューブ 2階
A205 教室(発表会場)・A201 教室(会員控室)

《口頭発表1》 9:30~10:50

※口頭発表は交代の時間を含めて20分(発表15分、質疑応答4分)。*は発表者。

A1 9:30~9:50 岡田 登(鹿児島県立短期大):鹿児島県沖永良部島における野菜生産法人の設立と取引先の変化

A2 9:50~10:10 石原 肇(大阪産業大):大阪府柏原市の伝統的ブドウ産地における多様な取り組み

A3 10:10~10:30 岩動志乃夫(東北学院大)*・林 絵梨奈(株式会社かんぽ生命保険):宮城県栗原市における地域おこし協力隊の活動と活動後の定住への課題

A4 10:30~10:50 遊佐順和(札幌国際大学短期大学部):北海道の昆布が支える日本の伝統文化

《ポスター紹介》 10:50~11:05(各発表1分以内)

※掲示時間は10:00~15:00、掲示場所は会場の掲示をご覧ください。

ポスター発表のコアタイムは12:50~13:20とします。

P1 河野 忠(立正大):和泉式部・小野小町・神功皇后伝説の水における地理学的特徴

P2 原 美登里・秋田貴廣(立正大)・飯山和也(立正大・院)・山下祐樹(熊谷市立江南文化財センター):熊谷市星宮地区における地域行事と学生参加

2018年5月

- P3 齊藤朋美(日本都市整備株式会社):熊谷市下川上地区における住民の災害意識
- P4 今井健太(株式会社日さく)・原 美登里・李 盛源(立正大)・船生泰寛(立正大・院):
熊谷市星宮地区・上之地区における井戸利用と水質特性
- P5 飯山和也(立正大・院):矢川における河川形態
- P6 岩谷恭弥(立正大・院):西日本 JR バス若江線における沿線地域住民および利用者の
路線認識と評価
- P7 原山拓也(上越教育大・院):日本の扇状地における土地利用と地域条件との関係
- P8 鈴木厚志(立正大)・向野正弘(埼玉県立所沢西高):李 景洛氏寄贈資料にみる
立正大学高等師範科歴史地理科の教育と学生像(1)

《総会》 11:05~11:50

《昼休み》 11:50~12:50 (A201 教室において、書籍の展示・販売を予定)

《ポスター発表コアタイム》 12:50~13:20

《口頭発表2》 13:20~14:00

※口頭発表は交代の時間を含めて 20 分(発表 15 分、質疑応答 4 分)。*は発表者。

A5 13:20~13:40 亀井啓一郎(立正大・非)*・君川静夫(株式会社ユーリバー)・戸田真夏
(青山学院大・非)・青木訓穂(JA さがみ):海上保安庁海洋情報部保管の石版原図につ
いて

A6 13:40~14:00 常井仁美(岡山県立林野高):ICT を活用した岡山県の地理教育の現状と
課題について—岡山県立林野高等学校を事例として—

《口頭発表3》 14:00~14:40

※口頭発表は交代の時間を含めて 20 分(発表 15 分、質疑応答 4 分)。*は発表者。

A7 14:00~14:20 初澤敏生(福島大):漆器業研究方法の再考

A8 14:20~14:40 小田巻 滋(横濱中華學院・非):第二次世界大戦前における外国製二輪
自動車の輸入販売動向とその地域的特性

《休憩》 14:40~14:50

《口頭発表4》 14:50~15:50

※口頭発表は交代の時間を含めて 20 分(発表 15 分、質疑応答 4 分)。*は発表者。

A9 14:50~15:10 吉本 勇(就実大):ジーンズを活用した倉敷市児島地区の観光について

A10 15:10~15:30 石野裕亮(東洋システム株式会社)・元木理寿(常磐大)*:水戸市の
インド・ネパール料理店にみる外国人労働者

A11 15:30~15:50 本岡拓哉(立正大):河川敷居住の生成と消滅をめぐる行政対応
静岡・安倍川を事例に

《口頭発表5》 15:50～16:30

※口頭発表は交代の時間を含めて20分(発表15分、質疑応答4分)。*は発表者。

A12 15:50～16:10 鈴木重雄(駒澤大):養蚕の衰退とマツ枯れによる植生・土地利用の変化—埼玉県滑川町山田地区の事例—

A13 16:10～16:30 戸田真夏(青山学院大・非):丹沢山地同角沢における河床縦断形の実測による地形調査

《懇親会》 16:45～18:30

会場:インターネットカフェ(アカデミックキューブ1階)

《地理写真の展示》(4月24日現在)

※掲示時間は10:00～15:00、掲示場所は会場の掲示をご覧ください。

G1 飯山和也(立正大・院):立正大学熊谷キャンパスの水辺環境

G2 岩谷恭弥(立正大・院):北陸新幹線金沢敦賀間における工事の変遷

G3 宇津川喬子(立正大):秋田県男鹿地域に発達する海岸砂丘と周辺の土地利用

G4 原 将也(立正大):ザンビア北西部の農業景観—主食作物に着目して—

G5 鈴木厚志(立正大):大気汚染下の北京市民

G6 横山貴史(立正大):チリの首都、サンティアゴの景観と都市構造

G7 郷原裕生・飯山和也・岩谷恭弥(立正大・院)・張 思遠(立正大・研):都電14系統路線跡を歩く—2018年度第1回地理空間院生会自主巡検—

○秋季例会・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第1報)

秋季例会(第41回)ならびに講演会(第49回)は、12月1日(土)に立正大学品川キャンパス、臨地研究会は12月2日(日)に渋谷駅周辺にて開催予定です。詳しい情報は8月上旬頃、立正地理学会ホームページ(<http://geo.rissho-map.jp/>)にてお知らせします。なお、秋季例会の一般発表受付の予定はございませんのでご注意ください。皆様の参加をお待ちしております。

○講演会(第50回)のお知らせ(第1報)

第50回講演会は、12月上旬頃、立正大学熊谷キャンパスにて開催予定です。演題・日時等の情報は、8月上旬頃、立正地理学会ホームページ(<http://geo.rissho-map.jp/>)にてお知らせします。皆様の参加をお待ちしております。

○臨地研究会の募集

今年度、臨地研究会の開催されるグループもしくは研究委員会におかれましては、5月21日(月)を締切日とし、以下の内容を明記した実施案を作成し、集会委員会 (geosoc@ris.ac.jp)へご提出願います。

- 1) 案内者(代表者がわかるようにしてください)
- 2) テーマ(具体的なテーマをお示してください)
- 3) 概要(500字程度で概要をお書きください)
- 4) 案内するルート(集合場所・昼食場所・解散場所を明記してください)
- 5) 学会ニュースや学会ホームページに掲載する原稿(過去の学会ニュースを参考に作成してください)
- 6) 申し込み受付を行なう会員の氏名、所属、連絡先(メールアドレス)
- 7) 費用等の概算

※実施案はA4サイズ(書式自由)のPDFでメールに添付し提出してください。

※傷害保険等の契約は案内者の方が代表して保険会社と手続きしてください。申し込みの取りまとめ、現地での見学の手続き等、臨地研究会に関わる一切の諸手続きは、案内者の方が行ってください。

※申し込みの内容を協議の上、開催の可否をお知らせいたします。

※臨地研究会運営費として、徒歩を中心とする場合には25,000円、貸し切りバスをチャーターする場合には50,000円が補助されます。

○2018年度立正地理学会研究委員会について

2018年度発足の研究委員会として1件の応募があり、次の1件が認められました。

委員会名: 第一次産業を核とした地域振興に関する地理学研究委員会

代表者: 石原 肇

研究期間: 2018年4月～2020年3月

研究テーマ: 第一次産業を核とした地域振興に関する地理学研究

助成額: 100,000円(2018年度)

(常任委員長 島津 弘)

○研究委員会の紹介および委員の追加募集

研究委員会名: 第一次産業を核とした地域振興に関する地理学研究委員会

研究代表者名: 石原 肇

研究期間: 2018年4月～2020年3月

研究目的: 21世紀に入り国内総人口は減少を始め、本格的な人口減少社会の到来に直面している。経済の停滞的な状況のもと、日本各地で固有の資源を活かした自律的で自立的な社会の創出が求められている。そこで、本研究委員会は、日本の各地で進められている第一次産業を核とした地域振興の研究を進めることで、地域振興の成立要因を明らかにすることを目的とする。もって、地理学研究による地域振興に資する。

追加募集人数: 若干名

追加募集の〆切: 2018年6月30日

応募方法: 応募の方は石原(ishihara@est.osaka-sandai.ac.jp)に件名に「立正地理学会 研究委員会追加募集」と明記の上、氏名、所属、連絡先(メールアドレス)をお送りください。

☆地理学教室だより☆

山下清海先生よりご挨拶

昨年(2017年4月)、立正大学地球環境科学部地理学科に着任しました山下清海(きよみ)です。秋田大学教育学部、東洋大学国際地域学部、筑波大学生命環境系などで、人文地理学の教育・研究に取り組んできました。

修士論文で横浜中華街の研究に取り組んだ後、文部省派遣の留学生としてシンガポールの南洋大学地理系で2年間、貴重な留学生生活を過ごしました。博士論文ではシンガポールの華人社会について研究しました。

それ以降、世界各地のチャイナタウンの比較研究や中国の地域研究などに取り組んでいます。国内では、池袋チャイナタウンをはじめ、各地のエスニックタウンや在留外国人の調査を続けています。

立正大学では、学生たちに国内外を問わず、積極的に外の世界に出て活動し、視野を広げてほしいです。そして、体験にもとづいて、自分の言葉で語れる人材を育てることに努めたいと思います。



○会費納入のお願い

2018 年度分の会費は、同封致しました払込取扱票にてご納入いただくか、立正地理学会総会・研究発表大会当日に、受付にて納入いただきたく存じます。また、今回の学会ニュースには「会費納入状況のお知らせ」を同封しましたのでご確認いただき、過年度分の会費が未納の方は、あわせてご納入願います。会費の金額および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000 円 学生会員 2,500 円
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下の通りです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際は、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

(庶務会計委員会)

編集後記

熊谷キャンパスの桜も、美しい新緑に姿を変えております。昨年度末より学生広報委員として、学会ニュースの作成作業に携わっております。大会時にも、インタビューや記事のご依頼をさせていただくことがあるかと存じますが、何卒よろしく願いいたします。

(広報委員 青木基寛)

立正地理学会ニュース No.123

2018年5月15日発行 編集者 立正地理学会広報委員会

発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内

電話 048-539-1672